令和８年３月９日

保護者の皆様

豊田市立青木小学校
ＰＴＡ会長　　熊﨑　裕代
地区安全委員長　近藤　直人
同　　副委員長　奥田　菜緒

集団登校と歩いて登下校することの意義について

日頃より、お子さまの登下校の安全見守りにご協力いただき、ありがとうございます。今回は「集団登校」と「歩いて登下校すること」の意義についてお伝えいたします。

集団登校の意義

・安全の確保
みんなでまとまって歩くことで、不審者や交通事故などの危険を減らすことができます。

・地域のつながり
保護者や地域の見守りを受けながら登校することで、子どもたちは安心感を持って学校へ向かうことができます。

・思いやりと協調性
上級生が下級生の面倒を見る姿や、声をかけ合いながら歩く姿は、社会性や優しさを育む場にもなります。

・生活リズムの安定
集合時間に合わせて準備をすることで、朝の生活習慣が自然と整います。

歩いて登下校する意義

・心と体の健康づくり
歩くことで体力がつき、頭もすっきりして授業に集中しやすくなります。

・自然や季節を感じる
道端の草花や空の色に気づくことが、子どもの豊かな感性を育てます。

・自立心の育成
自分の足で通学する経験が、責任感や自信につながります。

・交通ルールの習得
実際の道路で歩くことで、安全な横断や信号の守り方などを自然と学びます。

◆「集団登校」は **安全・安心と仲間との学び** を、「歩いて登下校すること」は **健康・自立と生活力** を育てる大切な機会です。

保護者の皆様のご理解とご協力に感謝しながら、子どもたちが安心して登下校できる環境を一緒につくっていきましょう。